

令和7年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立南蒲小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- (中)・ゲームや歌などを取り入れ、楽しみながら外国語を学べる環境をつくることができた。
- (高)・高学年はワークテストを購入することで、聞く力が身に付いてきている。

(2) 課題

- (中)・楽しみながら取り組んでいるが、一人一人が発音練習やプレゼンテーションをしたり、英語での会話をしたりする機会が少ない。
- (高)・中学年同様、一人一人がコミュニケーションやプレゼンテーションを通して発音する機会が少ない。また、自分の思いを英語で伝えたいという目的意識が低い。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第6学年	- 概ね区・全国の正答率、目標値を上回っている。 「思考・判断・表現」にあたる、会話全体の概要を捉えたり、推測したりする力が弱い傾向にある。	- 概ね区・全国の正答率、目標値を上回っている。 「読むこと」の正答率が低い傾向にある。 - 解答形式別では、記述式の問題が弱い傾向にある。	- 領域別の正答率は、区・全国の目標値、平均値を下回っている。その中でも、とくに「読むこと」「書くこと」の値が低い傾向にある。 「思考・判断・表現」にあたる、自分の考えを英語で記述し表現する力が弱い。

(2) 分析（観点別）

① 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- アルファベットの読み書きでは、大文字と似ている字形の小文字の書き方に誤答が多く見られた。 - 曜日や月などの単語が入っている文章は、誤答が多い。	- 話の内容を推測して聞くことは比較的得意である。 「英文の完成」「英作文」では、例文を参考にすると書ける児童が多い。一方で、対話の流れをくみ取って作文をするといった、「聞く」「書く」が組み合わせられた問題では、正答率が低い。	英作文では、「書けそうにない」という意識からか、正答率が低く、無回答も他の問題に比べて多かった。

3 授業改善のポイント（観点別）【◎は重点項目】

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎例文を参考にしながら、自分のことについて話す活動や表現する活動を多く取り入れる。	・例文を参考にしながら、自分の考えや思いに当てはまる言葉を見つけて話す活動を取り入れる。	・ALT を積極的に活用し、楽しみながら英語に慣れ親しむことができるゲームやアクティビティを多く取り入れる。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎自分のことについて話したいと思えるような表現を取り入れ、すすんで英語で思いを伝えるように指導する。	・様々な例文を参考にしながら、自分の思いや考えに当てはまる表現を選び、やりとりをしたり発表したりする機会を多くつく	・ワークシートを活用し、例文を見ながら書く活動を取り入れる。
◎ローマ字とヘボン式の違いを理解し、例		

文を見ながら4線に正しく書く活動を取り入れる。	る。	
-------------------------	----	--